

令和2年度 埼玉県社会福祉事業団 事業報告書

1 本部事務局

理事会・評議員会の運営及びその決定に基づく各事業の調整、人事、財務を適切に実施するとともに、県・市町村等との協議・連絡調整を行った。

1 理事会・評議員会の開催

(1) 理事会

	開催日等	決議事項
第1回 (決議省略)	決議されたとみなした日 令和2年6月5日(金)	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和元年度事業報告及び決算について 2 会計監査人の再任について 3 埼玉県社会福祉事業団諸規程の一部改正について 4 埼玉県社会福祉事業団定款第13条第4項に基づく評議員会の決議の省略について
第2回 (決議省略)	決議されたとみなした日 令和2年9月1日(火)	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団諸規程の一部改正について 2 評議員候補者の選定について 3 評議員選任・解任委員会の招集について
第3回	<ol style="list-style-type: none"> 1 日時 令和2年10月16日(金) 10:00~10:30 2 会場 埼玉会館 3 出席理事 理事総数7名中6名 	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和2年度補正予算について 2 障害者支援施設皆光園の改築に伴う土地の取得について 3 理事候補者の選定について 4 評議員会の招集について
第4回	<ol style="list-style-type: none"> 1 日時 令和3年3月29日(月) 13:30~14:10 2 会場 埼玉教育会館 3 出席理事 理事総数 8名中8名 	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和2年度補正予算について 2 令和3年度事業計画及び予算について 3 基本財産の処分について 4 指定管理に係る基本協定及び年度協定の締結について 5 役員賠償責任保険の契約について 6 業務委託契約の締結について 7 社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団諸規程の一部改正について 8 理事候補者の選定について 9 施設長等の選任について 10 評議員会の招集について

(2) 評議員会

	開催日等	決議事項
第1回 (決議省略)	決議されたとみなした日 令和2年6月25日(木)	1 令和元年度事業報告及び決算について 2 役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について
第2回	1 日時 令和2年10月16日(金) 13:30~14:10 2 会場 埼玉佛会館 3 出席評議員 評議員総数16名中14名	1 令和2年度補正予算について 2 理事の選任について
第3回	1 日時 令和3年3月29日(月) 15:00~15:45 2 会場 埼玉教育会館 3 出席評議員 評議員総数16名中12名	1 令和2年度補正予算について 2 令和3年度事業計画及び予算について 3 基本財産の処分について 4 役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について 5 理事の選任について

2 監査の実施

(1) 監事監査 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため本部事務局が一括受検

監事監査実施日	受 検 施 設
5月20日(水)	本部事務局(いわつき、嵐山郷、そうか光生園、障害者交流センター、あすなろ学園含)
5月21日(木)	本部事務局

(2) 会計監査

公認会計士を監査人とする会計監査を実施し、会計書類の正確性と経営の透明性の確保に努めた。

3 各施設の管理

施設長会議(毎月1回)や施設巡回指導などを通じて、理事会が決定する事業計画を円滑に推進させるとともに、各施設で生じた課題等に対処した。

(1) 指定管理事務の円滑な推進

前年度の事業報告及び翌年度の事業計画、その他指定管理業務に係る書類の提出など、指定管理者事務を円滑に推進した。また、上里学園、嵐山郷、障害者歯科診療所、障害者交流センターについて、令和3年度から令和7年度までの5年間の指定管理者として埼玉県から引き続き指定を受けた。

(2) 自主経営施設の健全な運営

効率的な施設運営を行うとともに、施設の利用率向上に努め、事業の継続やサービス向上に必要な財源を確保し、健全な経営基盤の確立を進めた。

(3) 既存施設の改築

障害者支援施設皆光園の改築に係る基本設計及び実施設計を行うとともに敷地測量を行った。

(4) 児童の自立支援

上里学園、おお里及びいわつきの児童養護施設において、①就職に向けた社会・就労体験事業(企業での就労体験)、②民間企業OB及び地域サポーターによる進路(就職・進学)支援事業、③施設退所後のアフターケアの3つの事業を実施した。

また、大学等進学を希望する児童に対する経済的な支援として、児童養護施設入所児童大学等進学支援資金給付要綱に基づき、申請のあった児童について速やかに対応を行った。

(5) 危機管理体制の強化

事故防止やヒヤリハットの取組を進めるとともに、役員や本部職員が各施設を巡回し、夜間時の職員配置や処遇状況、利用者支援上の問題点や兆候の把握状況などを点検・指導した。

(6) 利用者の権利擁護

全施設において利用者の権利擁護と虐待防止を徹底するため、全職員を対象としたセルフチェックを実施するとともに、権利擁護研修を開催した。

4 人事管理

(1) 正規職員の職種別の現員状況

令和3年3月31日現在(人)

区分	定数	事務職	支援員等	栄養士	医師	歯科医師	看護師	歯科衛生士	薬剤師	診療放射線技師	臨床検査技師	理学療法士	聴能訓練等	合計
計	570	72	397	10	3	5	41	6	2	0	0	3	4	543

※ 欠員の内訳：医師1人、臨床検査技師2人、放射線技師1人、理学療法士1人、支援員17人、看護師4人、歯科衛生士1人

(2) 令和2年度新規採用者

(人)

職種	支援員	看護師	栄養士	合計
人数	36	3	1	40

(3) 令和2年度退職者

(人)

退職理由	定年	勸奨	自己都合	総数
人数	12	6	18	36

5 職員研修 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため回数・内容を限定し実施

(1) 基本研修（開催回数6回・受講者数163人）

研修名	回数	受講者数
契約職員研修Ⅰ	1回	16人
採用時研修Ⅰ	1回	39人
初級研修Ⅰ	1回	39人
初級研修Ⅱ	1回	35人
新任主任研修	1回	27人
新任監督者研修	1回	7人

(2) 特別研修（開催回数2回・受講者数56人）

研修名	回数	受講者数
ハラスメント防止研修	1回	28人
リスクマネジメント研修	1回	28人

6 財務管理

社会福祉法人会計基準に基づく会計規程により、適正な財務管理に努めたほか、予算・決算の開示による透明性の確保を図った。

また、透明性・競争性を確保するため、業務委託及び物品購入等に関する入札を実施した。

2 上里学園

入所児童が安全で安らぎのある生活が送れるよう養護するとともに、児童の自立に向けた支援を行った。

被虐待児など心に傷を負った児童に対して、精神科医や臨床心理士等による心のケアに努めた。地域との積極的な交流を行うとともに、実習生やボランティアを積極的に受け入れた。

1 利用者状況

(1) 入退所の状況

(人)

定員	月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		140	入所	2	0	1	1	0	0	0	1	1	2	
	退所	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	0	10	16
	在所	116	115	115	116	115	114	114	113	114	116	117	111	—

(「在所」は、各月末の児童数)

(2) 一時保護の状況

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規受入 人数	3	0	0	0	0	5	0	2	1	2	0	1	14
一時保 護 一 児 童 数	3	1	0	0	0	5	3	4	4	5	3	3	31
延 人 日 数	46	22	0	0	0	63	76	77	100	82	59	18	543

※4月は3月からの継続を含む。

(「一時保護児童数」は、当該月に保護した月間の児童数)

(3) ショートステイ事業の受け入れ

実人数	延べ人数
6人	27人日

2 利用者支援

(1) 児童一人ひとりの児童自立支援計画を策定し、児童相談所・学校・医療機関等関係機関と連携して児童及び保護者に対して支援を行った。

措置機関(児童相談所)別受託状況

令和3年3月31日現在(人)

	中央	南	川越	所沢	熊谷	越谷	草加	さいたま市	計
人数	6	9	26	26	26	11	4	3	111
比率	5.4%	8.1%	23.4%	23.4%	23.4%	9.9%	3.6%	2.8%	100.0%

(2) 児童の自立に向けた支援

ア 社会・就労体験事業

施設周辺の協力企業と連携した児童の会社見学及び職場体験、アルバイトを通じた就労体験及びそれに対する助言指導を行った。

職場体験参加児童数	参加延べ日数	受入企業数
4人	8日	2社
会社見学参加児童数	アルバイト助言・指導人数	
0人※	8人	

※新型コロナウイルス感染症の影響で見学が行えず、振替としてサポーターズによる講話を実施。

イ 児童自立サポーターズによる就職・進学支援事業

民間企業OB及び地域の経営者等で構成するサポーターズの協力により、模擬面接及び社会人としての心構えの指導などを行った。

模擬面接実施人数	「社会人(進学含む)の心構え」指導人数
3人	3人

ウ 就職・進学状況

学年	人数	進路状況
中 3	8人	・全日制高校 6人 ・定時制高校 1人 ・特別支援学校 1人
高 3 (特別支援学校)	4人 (2人)	・就職5人 ・進学(専門学校) 1人

(3) 退所児童に対するアフターケア

施設で対応する窓口を明確にし、退所後の児童の状況の把握、相談や課題の解決などの支援を行った。(回)

相談者	アフターケア実施内容						計	本人以外計	合計
	電話	来園	勤務先訪問	家庭訪問	その他				
					メール	その他			
退所児童(本人) (63人)	201	38	1	7	112	43	402	130	532
本人以外	保護者	14	0	0	0	0	14		
	児相	24	0	0	0	0	24		
	職場	18	0	0	0	0	1		
その他	43	0	0	0	0	30	73		

(4) 心理ケアの実施状況

被虐待児や心的外傷を受けた児童について、精神科医受診及び臨床心理士、心理担当職員による心理ケア等を行った。

区分	実人数	延べ回数	職員への助言・指導
医師	21人	221回	20回
臨床心理士等	34人	408回	110回

(5) 家族宿舎等を活用した自活訓練

高校2～3年生を対象に実施し、一人で生活する際の知識や技術の確認を行った。

実人数	延べ回数	延べ日数
6人	6回	30日

(6) 健康管理の状況

入所児童の健康管理については、毎朝の連絡会等を通じて児童の健康状態を常時把握するとともに、各種予防接種、定期健康診断を行い、疾病の予防、早期発見、早期治療に努めた。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手洗いや手指消毒の徹底、毎日の検温実施、施設内の消毒などに努めた。

(7) 地域住民との交流・連携

新型コロナウイルスの感染予防に努めつつ、可能な範囲で地域と共に歩む施設として、スポーツ少年団の活動や、グラウンドゴルフの練習場として、会場の提供を行った。

また、近隣市町村と連携し情報共有をしながら、子育て短期支援事業の受け入れを行い、地域の子育て支援に取り組んだ。

(8) 主な行事の実施状況 ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

年月	主な行事内容
令和2. 4	お花見昼食会
5	各寮行事(バーベキュー等)
7	納涼祭(施設内)
8	青少年会議所主催行事(バーベキュー等)
11	七五三、サッカー大会(施設内)
12	日帰り旅行、クリスマス会
令和3. 1	新年会、上里くらぶ
2	ピアノ発表会
3	卒園生講和、卒園行事、卒園・卒業を祝う会

- (9) ボランティアの受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

受入延べ人数	主な内容
61人	読み聞かせ、理髪、ピアノ、学習等

- (10) 実習生の受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

区分	実人数	延べ日数
保育士実習	52人	590日
社会福祉士実習	2人	42日
計	54人	632日

- (11) 見学者の受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

受入延べ人数
23人

3 利用者等のニーズの把握及び対応

意見箱を設置し、児童の要望等の把握に努めた。また児童会を実施し、意見の収集を行うとともに、日常的に対話を心がけ細かな要望にも対応するよう努めた。

また、嗜好調査・残菜調査を実施し、好みを取り入れた献立作りに努めるとともに、児童にアンケートを実施し、その結果を基に生活の改善に向け努力した。

4 施設・設備の維持管理

(1) 工事の実施

Wi-Fi 環境の整備、ベランダの鉄柵の塗装工事、老朽化による幼児棟非常階段の付け替え工事を行った。

(2) 保守点検の実施

児童の安全確保とサービスの向上及び施設環境を維持するため、計画的な施設・設備の保守点検等を実施し、適正な維持管理を行った。

(3) 施設内点検

職員による定期的な施設内点検を実施し、改善・補修の必要性が生じた時には速やかに対応した。

5 危機管理への対応

- (1) 児童を災害から守るため、法令に基づく建物、防災機器及び各種機器設備等の保守点検を定期的に行い安全確保・事故防止に万全を期した。

- (2) 総合防災訓練、夜間想定訓練などを含め防災訓練を毎月1回実施し、災害予防と安全の確保に努めた。

- (3) 不審者対応等の防犯訓練を実施し、緊急時に対応できる体制を整えた。

(4) 危機管理体制の充実

ア 新型コロナウイルス感染症対策

事業継続計画（BCP）を作成し、連絡会や会議等で職員へ周知、感染予防対策を講じた。

イ 夜間の勤務状況のチェック

園長、副園長などの管理職及び夜間リーダーが夜間の現場を不定期に巡回し、勤務状況のチェック・指導を実施した。

ウ 問題兆候への「気づき」

寮会議等における情報交換を綿密に行うとともに、セルフチェックなどの機会も利用し、寮職員全員で問題点やその兆候の把握に努めた。

エ 職員との面談と教育

園長が契約職員を含む全職員との個別面談を実施したほか、虐待防止及び権利擁護に関する研修を実施した。

6 職員の育成

- (1) 新任職員研修、権利擁護に関する事例検討会、性教育に係る研修、臨床心理士による児童支援に関する研修、そだれん研修を実施した。

- (2) リモートによる外部研修にも参加した。

3 おお里

入所児童が安全で安らぎのある生活が送れるよう養護するとともに、児童の自立に向けた支援を行った。

被虐待児など心に傷を負った児童に対して、精神科医や臨床心理士等による心のケアに努めた。

1 利用者状況

(1) 入退所の状況 (人)

定員	月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		116	入所	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0	0
退所	1		0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	18	22
在所	99		99	99	98	98	100	102	101	101	101	101	91	—

(「在所」は、各月末の児童数)

(2) 一時保護の状況 (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規受入 人数	0	0	1	2	1	1	0	3	3	2	5	4	22
一時保 護 児 童 数	0	0	1	2	1	1	0	3	3	2	5	4	22
延 人 日 数	0	0	7	14	24	32	59	46	84	131	101	178	676

※4月は3月からの継続を含む。

(「一時保護児童数」は、当該月に保護した月間の児童数)

2 利用者支援

(1) 児童一人ひとりの児童自立支援計画を策定し、児童相談所・学校・医療機関等関係機関と連携して児童及び保護者に対して支援を行った。

措置機関(児童相談所)別受託状況

令和3年3月31日現在(人)

	中央	南	川越	所沢	熊谷	越谷	草加	さいたま市	計
人数	7	6	12	8	26	15	16	1	91
比率	7.7%	6.6%	13.2%	8.8%	28.5%	16.5%	17.6%	1.1%	100.0%

(2) 児童の自立に向けた支援

ア 社会・就労体験事業

施設周辺の協力企業と連携した児童の会社見学及び職場体験は新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため実施できず。アルバイトを通じた就労体験及びそれに対する助言指導を行った。

職場体験参加児童数	参加延べ日数	受入企業数
0人	0日	0社
会社見学参加児童数	アルバイト助言・指導人数	
0人	10人	

イ 児童自立サポーターズによる就職・進学支援事業

民間企業OB及び地域の経営者等で構成するサポーターズの協力により、模擬面接及び社会人としての心構えの指導などを行った。

模擬面接実施人数	「社会人(進学含む)の心構え」指導人数
5人	5人

ウ 就職・進学の状況

学年	人数	進路状況
中 3	7人	・全日制高校 5人 ・その他 2人
高 3 (特別支援学校)	5人 (2人)	・就職 5人 ・進学 1人 ・その他 1人

※その他は、福祉的ケアに基づく就労等

(3) 退所児童に対するアフターケア

施設で対応する窓口を明確にし、退所後の児童の状況の把握、相談や課題の解決などの支援を行った。(回)

相談者	アフターケア実施内容						計	本人以外計	合計	
	電話	来園	勤務先訪問	家庭訪問	その他					
					メール	その他				
退所児童(本人) (46人)	106	32	0	4	75	17	234	172	406	
本人以外	保護者	30	0	0	0	4	1			35
	児相	56	3	0	0	0	7			66
	職場	1	0	0	0	0	0			1
	その他	58	0	0	0	1	11			70

(4) 心理ケアの実施状況

被虐待児や心的外傷を受けた児童について、精神科医受診及び臨床心理士、心理担当職員による心理ケア等を行った。

区分	実人数	延べ回数	職員への助言・指導
医師	16人	152回	11回
臨床心理士等	39人	690回	223回

(5) 親子訓練棟を活用した自活訓練

高校生を対象に実施し、一人で生活する際の知識や技術の確認を行った。

実人数	延べ回数	延べ日数
21人	39回	98日

(6) ホームステイ事業の状況

家庭生活経験の少ない児童に対し、ボランティア家庭の協力によるホームステイ事業については、新型コロナウイルス感染症拡大のため、今年度実施できなかった。

児童数	参加延べ日数
0人	0日

(7) 健康管理の状況

入所児童の健康管理については、毎朝の連絡会等を通じて児童の健康状態を常時把握するとともに、各種予防接種、定期健康診断を行い、疾病の予防、早期発見、早期治療に努めた。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手洗いや手指消毒の徹底、毎日の検温実施、施設内の消毒などに努めた。

(8) 地域住民との交流・連携

例年では、熊谷市中恩田地区など近隣で開催される行事への児童の参加や地域との共催の納涼祭を行うなど地域住民との交流を積極的に図っているのだが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、感染予防に努めながらの開催となった。

(9) 主な行事の実施状況※新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意し、実施。

年月	主な行事内容
令和2.5	バーベキュー
6	ジャガイモ収穫
8	納涼祭
10	日帰り旅行
11	総合防災訓練
12	餅つき

- (10) ボランティアの受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

受入延べ人数	主な内容
12人	生活支援ボランティア

- (11) 実習生の受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

区分	実人数	延べ日数
保育士実習	46人	475日

- (12) 見学者の受入れ※新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止。

受入延べ人数
0人

3 利用者等のニーズの把握及び対応

児童会の開催や意見箱の設置、満足度調査、アンケートの実施等を通し、児童及び家族の意向や要望を把握し、支援内容の向上に努めた。

4 施設・設備の維持管理

(1) 工事の実施

Wi-Fi 環境の整備、フェンス修繕、階段の手すり取り付けなどの修繕工事を実施した。

(2) 保守点検の実施

児童の安全確保とサービスの向上及び施設環境を維持するため、計画的な施設・設備の保守点検等を実施し、適正な維持管理を行った。

(3) 施設内点検

職員による定期的な施設内点検を実施し、改善・補修の必要性が生じた時には速やかに対応した。

5 危機管理への対応

- (1) 児童を災害から守るため、法令に基づく建物、防災機器及び各種機器設備等の保守点検を定期的に行い、安全確保・事故防止に万全を期した。

- (2) 総合防災訓練、夜間想定訓練、地震・水害対策などを含めた防災訓練を毎月1回実施し、災害予防と安全の確保に努めた。

(3) 危機管理体制の充実

ア 新型コロナウイルス感染症対策

事業継続計画（BCP）を作成し、連絡会や会議等で職員へ周知、感染予防対策を講じた。

イ 夜間の勤務状況のチェック

園長、副園長などの管理職及び夜間リーダーが夜間の現場を不定期に巡回し、勤務状況のチェック・指導を実施した。

ウ 問題兆候への「気づき」

階会議等において情報交換を綿密に行うとともに、職員全員で問題点やその兆候の把握に努めた。

エ 職員との面談と教育

園長が契約職員を含む全職員との個別面談を実施したほか、虐待防止及び権利擁護に関する研修を実施した。

6 職員の育成

- (1) 大学と連携し、他の児童養護施設と合同で処遇困難児童等に係る事例検討会を実施した。

- (2) 全体会議において、職員が参加した研修の報告を行うことで研修成果の水平展開を図り、育成に努めた。

4 いわつき

入所児童が安全で安らぎのある生活が送れるよう養護するとともに、児童の自立に向けた支援を行った。

被虐待児など心に傷を負った児童に対して、精神科医や臨床心理士等による心のケアに努めた。

1 利用者状況

(1) 入退所の状況

ア 児童養護施設

(人)

定員	月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		88	入所	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	
退所	0		0	1	0	0	1	0	0	1	3	2	9	17
在所	85		87	87	87	88	87	87	87	86	83	86	82	—

イ 乳児院

(人)

定員	月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		9	入所	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	
退所	0		0	0	2	0	0	1	0	0	0	1	0	4
在所	9		9	9	7	7	9	8	8	8	8	7	9	—

(「在所」は、各月末の児童数)

(2) 一時保護の状況

ア 児童養護施設

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規受入数	0	0	0	0	0	1	0	0	3	1	1	1	7
一時保護児童数	0	0	0	0	0	1	1	1	4	3	3	2	15
延人日数	0	0	0	0	0	1	31	30	44	49	23	54	232

イ 乳児院

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規受入数	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
一時保護児童数	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	4
延人日数	0	0	0	0	0	6	1	30	11	0	0	0	48

※4月は3月からの継続を含む。

(「一時保護児童数」は、当該月に保護した月間の児童数)

(3) ショートステイ事業の受け入れ(里親レスパイト含む)

児童養護		乳児院	
3人	延べ13日	1人	延べ5日

2 利用者支援

(1) 児童一人ひとりの児童自立支援計画を策定し、児童相談所・学校・医療機関等関係機関と連携して児童及び保護者に対して支援を行った。

ア 児童養護施設・措置機関(児童相談所)別受託状況

令和3年3月31日現在(人)

	中央	南	川越	所沢	熊谷	越谷	草加	さいたま市	計
人数	18	15	8	10	4	12	5	10	82
比率	22.0%	18.3%	9.8%	12.2%	4.8%	14.6%	6.1%	12.2%	100.0%

イ 乳児院・措置機関(児童相談所)別受託状況

令和3年3月31日現在(人)

	中央	南	川越	所沢	熊谷	越谷	草加	さいたま市	計
人数	0	1	0	2	0	1	0	5	9
比率	0.0%	11.1%	0.0%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%	55.6%	100.0%

(2) 児童の自立に向けた支援

ア 社会・就労体験事業

施設周辺の協力企業と連携した児童の会社見学及び職場体験、アルバイトを通じた就労体験及びそれに対する助言指導を行った。

職場体験参加児童数	参加延べ日数	受入企業数
1人	4日	1社
会社見学参加児童数	アルバイト助言・指導人数	
0人	15人	

イ 児童自立サポーターズによる就職・進学支援事業

民間企業OB及び地域の経営者等で構成するサポーターズの協力により、模擬面接及び社会人としての心構えの指導などを行った。

模擬面接実施人数	「社会人(進学含む)の心構え」指導人数
4人	8人

ウ 就職・進学の状況

学年	人数	進路状況
中 3	3人	・全日制高校 1人 ・特別支援学校 2人
高 3 (特別支援学校)	9人 (1人)	・進学 6人 ・就職 3人 ・グループホーム 1人

(3) 退所児童に対するアフターケア

施設で対応する窓口を明確にし、退所後の児童の状況の把握、相談や課題の解決などの支援を行った。

(児童養護施設)

(回)

相談者	アフターケア実施内容						計	本人以外計	合計	
	電話	来園	勤務先訪問	家庭訪問	その他					
					メール	その他				
退所児童(本人) (121人)	209	42	0	10	186	40	487	340	827	
本人以外	保護者	52	2	0	0	2	9			65
	児相	39	2	0	1	0	16			58
	職場	0	0	2	1	0	0			3
その他	91	2	0	0	25	96	214			

(乳児院)

退所乳児数	アフターケア回数
27人	146回

(4) 心理ケアの実施状況

被虐待児や心的外傷を受けた児童について、精神科医受診及び臨床心理士、心理担当職員による心理ケア等を行った。

(児童養護施設)

区分	実人数	延べ回数	職員への助言・指導
医師	42人	280回	38回
臨床心理士等	41人	1,267回	229回

(乳児院)

区分	実人数	延べ回数	職員への助言・指導
臨床心理士	6人	48回	83回

(5) 親子訓練室を活用した自活訓練

高校生を対象に実施し、ひとりで生活する際の知識や技術の確認を行った。

実人数	延べ回数	延べ日数
15人	16回	43日

(6) 健康管理の状況

入所児童の健康管理については、毎朝の連絡会等を通じて児童の健康状態を常時把握するとともに、各種予防接種、定期健康診断を行い、疾病の予防、早期発見、早期治療に努めた。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手洗いや手指消毒の徹底、毎日の検温実施、施設内の消毒などに努めた。

(7) 地域住民との交流・連携

ア 地域関係者との連絡会を通じて、施設運営への理解を促した。また、いわつき地域災害リスクと安全な施設対策についての資料を配布し、同地域の災害リスクについて改めて共有した。

イ 新型コロナウイルス感染症対策に留意し、地域との連携を深めるため挨拶運動や地域の清掃活動を実施した。

(8) 里親に関する状況

ア 里親委託

乳児院において、家庭引取りが難しい幼児について、児童相談所と連携し里親委託に向けて調整した結果、今年度1名の幼児が里親委託となっている。児童養護は、里親委託に向け交流児童がいたが、里親と児相の養育見解の違いにより交流中止となる。

イ 里親への支援

施設から委託した里親を中心に、地域の里親、未委託里親を含め懇談会を実施し、近況を確認するとともに養育相談に対して助言等を行った。

実施日及び参加数

10月18日午前	4組11人	10月18日午後	3組 5人
3月13日午前	3組 8人	3月13日午後	3組 8人

(9) 主な行事の実施状況※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

年 月	主 な 行 事 内 容
2. 4	花見
5	鯉のぼり掲揚
7	七夕、※棟日帰り旅行(8月~11月)
9	岩槻東ロータリークラブ招待行事(東武動物公園)、乳児院お月見
10	地域関係者との連絡会、乳児院ハロウィン
11	七五三
12	クリスマス会
3. 2	節分
3	ひな祭り、卒園行事

(10) ボランティアの受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

受入延べ人数		主 な 内 容
児童養護施設	乳児院	学習・余暇支援、理髪等
131人	0人	

(11) 実習生の受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

ア 児童養護施設

区 分	実 人 数	延 べ 日 数
保育士実習	29人	304日
社会福祉士実習	6人	116日
計	35人	420日

イ 乳児院

区 分	実 人 数	延 べ 日 数
保育士実習	12人	100日

(12) 見学者の受入れ（延べ人数）※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

児童養護施設	乳児院
57人	57人

3 利用者等のニーズの把握及び対応

児童会の開催や意見箱の設置、満足度調査、アンケートの実施等を通し、児童及び家族の意向や要望を把握し、支援内容の向上に努めた。

4 施設・設備の維持管理

(1) 工事の実施

Wi-Fi 環境の整備、乳児院の園庭の人工芝張替えと砂場の砂の入替、園内の畳替等を実施。

(2) 保守点検の実施

児童の安全確保とサービスの向上及び施設環境を維持するため、計画的な施設・設備の保守点検等を実施し、適正な維持管理を行った。

(3) 施設内点検

職員による定期的な施設内点検を実施し、改善・補修の必要性が生じた時には速やかに対応した。

5 危機管理への対応

(1) 児童を災害から守るため、法令に基づく建物、防災機器及び各種機器設備等の保守点検を定期的に行い安全確保・事故防止に万全を期した。

(2) 総合防災訓練、夜間想定訓練などを含め防災訓練を毎月1回実施し、災害予防と安全の確保に努めた。

(3) 防犯の取り組み状況として、緊急通報システムを継続契約している。防犯訓練については、全体会議で防犯に対する意識向上のための講義を実施した。

(4) 危機管理体制の充実

ア 新型コロナウイルス感染症対策

事業継続計画（BCP）を作成し、連絡会や会議等で職員へ周知、感染予防対策を講じた。

イ 夜間の勤務状況のチェック

園長、副園長などの管理職及び夜間リーダーが夜間の現場を不定期に巡回し、勤務状況のチェック・指導を実施した。

ウ 問題兆候への「気づき」

棟会議等における情報交換を綿密に行うとともに、ニーズ調査などの機会も利用し、棟職員全員で問題点やその兆候の把握に努めた。

エ 職員との面談と教育

園長が契約職員を含む全職員との個別面談を実施したほか、権利擁護に関する研修を実施した。

6 職員の育成

(1) 「事例検討会」や採用2年未満職員による研修として「日々の業務の振り返り・権利擁護」等について施設内研修を実施した。

(2) 外部研修については、新型コロナウイルス感染症対策の観点から対面式の研修会は避け、オンラインやオンデマンド型の研修を積極的に取り入れた。

(3) 性教育に関する研修として、助産師を講師とした職員研修及び職員による座談会を実施した。

5 花園

利用者が安全で自立した生活ができるよう、利用者の特性に応じた支援を行うとともに、作業等を通して利用者の社会参加を促進した。

また、短期入所の受入れやグループホームの運営等により在宅障害児（者）の支援を行った。

1 利用者状況

(1) 入退所の状況 (人)

施設種別		性別	定員	前年度末	入 所	退 所	年度末
障害者支援施設	入 所	男	—	55	2	3	54
		女	—	43	0	0	43
		計	110	98	2	3	97
	通 所	男	—	11	0	0	11
		女	—	4	0	0	4
		計	20	15	0	0	15
計	男	—	66	2	3	65	
	女	—	47	0	0	47	
	計	130	113	2	3	112	

(2) 退所の理由 (人)

施設種別		区分	地域 移行	死亡 (病気)	その他	計
障害者支援施設	入所		1	1	1 (他施設移行)	3
	通所		0	0	0	0
計			1	1	1	3

(3) 障害支援区分 令和3年3月31日現在 (人)

施設種別		区分	男	女	計	割合
障害者支援施設	入 所	6	45	35	80	82.5%
		5	7	6	13	13.4%
		4	2	2	4	4.1%
		計	54	43	97	100.0%
	通 所	6	2	0	2	13.3%
		5	6	1	7	46.7%
		4	2	2	4	26.7%
		3	1	1	2	13.3%
計			11	4	15	100.0%

2 利用者支援

利用者ニーズに基づく個別支援計画を策定し、利用者の特性に応じた支援を行った。

(1) 日中支援の状況（他事業所を利用する8人を除く）

	小ホール班	センター班	農園芸班	リサイクル班	木工(通所)	計
男	2	26	10	15	11	64
女	19	10	0	7	4	40
計	21	36	10	22	15	104

(2) 短期入所

在宅の障害児（者）のニーズに応えるため、短期入所を受け入れた。

区 分	受入延べ件数	延べ日数
障害者支援施設	447件	1,263日

※日中一時支援事業（146件 延べ146日）含む

(3) グループホームの運営

令和3年3月31日現在（人）

名 称	定 員	利用人数
アパートメント花園	7	7
グループホーム小前田	4	4
計	11	11

(4) 健康管理の状況

日ごろから利用者の健康観察を行うとともに、定期的に健康診断を実施して疾病の早期発見・早期治療及び予防に努めた。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手洗いや手指消毒の徹底、毎日の検温実施、施設内の消毒などに努めた。

(人)

区分	科目	精神科	内 科	外 科	眼 科	耳鼻科	婦人科	歯 科	皮膚科 泌尿器科	健康診断	計
		通 院	1,273	1,593	112	11	27	33	186	31	212
内 訳	嘱託医	1,271	1,553	0	0	27	27	0	0	212	3,090
	その他	2	40	112	11	0	6	186	31	0	388
入 院		0	5	5	0	0	0	0	0	0	10

(5) 主な行事の実施状況※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

年 月	主 な 行 事 内 容
令和2. 5	園内余暇（デザート喫食）
6	バスドライブ外出
7	外出（農林公園）、福祉避難所設置訓練
8	園内余暇（かき氷喫食）
9	余暇外出（さいたま水族館）
10	園内余暇（調理体験、クレープ喫食）
11	ふれあいの集い、園内余暇（グラウンドゴルフ）、総合防災訓練、
12	バスドライブ外出、クリスマス会
令和3. 1	初詣、新年会、園内余暇（書道）
2	園内余暇（節分、映画上映）
3	ひなまつりコンサート(中止)

(6) ボランティアの受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

受入延べ人数	主 な 内 容
20人	お茶・お花教室等

(7) 実習生の受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

区 分	実 人 数	延 べ 日 数
保育士実習	24人	258日
社会福祉士実習	2人	24日
計	26人	282日

(8) 見学者の受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

受入延べ人数
24人

3 利用者等のニーズの把握及び対応

日常的な利用者との関わりや利用者の会、保護者への電話での聞き取り、意見箱の設置、満足度調査、食事の嗜好調査等とおして、利用者及び保護者の意向や要望を把握し支援内容の向上に努めた。

4 施設・設備の維持管理

(1) 保守点検の実施

利用者の安全確保とサービスの向上及び施設環境を維持するため、計画的な施設・設備の保守点検等を実施し、適正な維持管理を行った。

(2) 施設内点検

職員による定期的な施設内点検を実施し、改善・補修の必要性が生じた時には速やかに対応した。

5 危機管理への対応

(1) 利用者を災害から守るため、法令に基づく建物、防災機器及び各種機器設備等の保守点検を定期的に行い安全確保・事故防止に万全を期した。

(2) 総合防災訓練を年1回実施するほか、利用者の障害状況等を考慮の上、消火・避難誘導訓練等を毎月実施し災害予防と安全の確保に努めた。

(3) 福祉避難所設置訓練は、新型コロナウイルス感染症対策から深谷市防災課との共同での実施は避け施設のみで実施した。

(4) 不審者の侵入対策として、各寮に警備会社へ直接通報できる携帯型の非常通報装置を配備したほか、防犯用としてさすまたを配備し、警察署員による防犯訓練を実施した。

(5) 危機管理体制の充実

ア 新型コロナウイルス感染症対策

事業継続計画 (BCP) を作成し、連絡会や全体研修から職員へ周知、感染予防対策を講じた。

イ 夜間の勤務状況のチェック

園長、副園長などの管理職及び夜間リーダーが夜間の現場を不定期に巡回し、勤務状況のチェック・指導を実施した。

ウ 問題兆候への「気づき」

寮会議等における情報交換を綿密に行うとともに、ニーズ調査などの機会も利用し、寮職員全員で問題点やその兆候の把握に努めた。

エ 職員との面談と教育

園長及び副園長が、契約職員を含む全職員との個別面談を実施したほか、虐待防止に関する研修を実施した。

6 職員の育成

(1) 新型コロナウイルス感染症対策として、オンライン研修を中心とした施設内研修を整備し実施した。

(2) 施設入所支援に配置する職員に対し強度行動障害支援者養成研修を受講させた。

(3) 危機管理能力の向上を図るため、ヒヤリハット及び事故報告を基にした事例検討を行い、日常業務からの意識付けを行った。また、新規採用職員等を対象にメンター制度を実施した。

6 あげお

利用者が安全で自立した生活ができるよう、利用者の特性に応じた支援を行うとともに、活動等を通して利用者の社会参加を促進した。

また、コロナ禍ではあったが、短期入所の受入れやグループホームの運営、相談支援事業等により在宅障害児（者）の支援を行った。

1 利用者状況

(1) 入退所の状況 (人)

施設種別	性別	定員	前年度末	入 所	退 所	年度末	
障害者支援施設	入 所	男	—	41	1	1	41
		女	—	37	2	1	38
		計	80	78	3	2	79
	通 所	男	—	10	1	2	9
		女	—	10	1	1	10
		計	20	20	2	3	19
計	男	—	51	2	3	50	
	女	—	47	3	2	48	
	計	100	98	5	5	98	

(2) 退所の理由 (人)

施設種別	区 分	地域 移行	死亡 (病気)	その他	計
障害者支援施設	入所	0	0	2 (療養病院・短期入所)	2
	通所	0	0	3 (入所施設・他通所施設)	3
計		0	0	5	5

(3) 障害支援区分 令和3年3月31日現在(人)

施設種別	区分	男	女	計	割合	
		入 所	37	20	57	72.1%
障害者支援施設	入 所	5	11	15	19.0%	
		4	7	7	8.9%	
		計	41	38	79	100.0%
		通 所	6	1	4	21.1%
	5		5	8	42.1%	
	4		3	5	26.3%	
	計		9	10	19	100.0%

2 利用者支援

利用者ニーズに基づく個別支援計画を策定し、利用者の特性に応じた支援を行った。

(1) 日中支援の状況（入所利用者と通所利用者の合計） (人)

	Aグループ (手工芸・陶芸・ 園芸・受託加工・ 音楽・表現・身 体・スポレク等)	Bグループ (軽作業・表現・ 音楽・身体活動 等)	Cグループ (散歩、表現・音 楽・ビーズ通し・ ドライブ等)	計
男	18	20	12	50
女	23	15	10	48
計	41	35	22	98

(2) 短期入所

在宅の障害児（者）のニーズに応えるため、短期入所を受け入れた。

区 分	受入延べ件数	延べ日数
障害者支援施設	608件	1,820日

※日中一時支援事業（188件 延べ188日）含む

(3) グループホームの運営

令和3年3月31日現在（人）

名 称	定 員	利用人数
グループホームあげお	6	5
サテライトあげお	1	0
グループホームひらつか	5	5
グループホームふたつみや	5	4
計	17	14

(4) 健康管理の状況

日ごろから利用者の健康観察を行うとともに定期的に健康診断を実施して、疾病の早期発見・早期治療及び予防に努めた。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手洗いや手指消毒の徹底、毎日の検温実施、施設内の消毒などに努めた。

（人）

科目 区分	精神科	内科	外科	眼科	耳鼻科	婦人科	歯科	皮膚科	乳腺科	リハビリ科	泌尿器科	健康診断	その他	計
通院	508	408	115	32	21	2	130	48	0	0	52	297	5	1,618
内 訳	嘱託医	440	330	36	1	0	0	0	0	0	0	0	0	807
	その他	68	78	79	31	21	2	130	48	0	52	297	5	811
入院	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3

(5) 相談支援事業

障害者相談支援事業及び障害児等療育支援事業を実施し、在宅の障害児（者）を支援した。

ア 障害者相談支援事業

（件）

訪 問	来 所	電 話	計
413	101	973	1,487

イ 障害児等療育支援事業

（件）

在宅支援訪問療育等指導	在宅支援外来療育等指導	施設支援一般指導	計
296	140	100	536

※他に上尾市・伊奈町の発達支援巡回事業を幼稚園等20カ所を対象に、延べ46回実施した。

(6) 主な行事の実施状況※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

年 月	主 な 行 事 内 容
令和2. 6	ウォーキングラリー「テーマ：あじさい」
7	七夕イベント
8	バーチャル工場見学「ガリガリ君（赤城乳業）」
9	長寿を祝う会 「第2回あげお作品展～COCORON～」上尾市役所にて
10	あげおまつり
12	年末お楽しみ会、ケーキの会、ウォーキングラリー「テーマ：クリスマス」
令和3. 1	新年を祝う会、ウォーキングラリー「テーマ：初詣」

(7) ボランティアの受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

受入延べ人数	主 な 内 容
92人	手工芸、活動ボラ等

(8) 実習生の受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

区 分	実 人 数	延 べ 日 数
保育士実習	20人	234日
その他（看護等）	6人	12日
計	26人	246日

- (9) 見学者の受入れ※新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、実施。

受入延べ人数
36人

3 利用者等のニーズの把握及び対応

日常的な利用者との関わりや利用者参加の生活委員会、家族との連絡、意見箱の設置、満足度調査、食事の嗜好調査等を通し、利用者及び家族の意向や要望を把握し、支援内容の向上に努めた。

4 施設・設備の維持管理

(1) 保守点検の実施

利用者の安全確保とサービスの向上及び施設環境を維持するため、計画的な施設・設備の保守点検等を実施し、適正な維持管理を行った。

(2) 施設内点検

職員による定期的な施設内点検を実施し、改善・補修の必要性が生じた時には速やかに対応した。

5 危機管理への対応

(1) 利用者を災害から守るため、法令に基づく建物、防災機器及び各種機器設備等の保守点検を定期的に行い安全確保・事故防止に万全を期した。

(2) 消防署の指導のもとに年1回総合防災訓練を行うとともに利用者の障害特性を考慮の上、消火・避難誘導訓練等を実施し、災害予防と安全の確保に努めた。

(3) 上尾市危機管理防災課職員と福祉避難所をはじめとする地域防災における研修会を実施し、共通理解を基にあげお非常災害計画について改正、施設内研修で職員に周知した。

(4) 災害非常発生時の体制構築訓練や緊急伝達訓練の実施及び備蓄品の整備を行い、災害発生時の即応体制を整えた。

(5) 危機管理体制の充実

ア 新型コロナウイルス感染症対策

業務継続計画（BCP）及び新型コロナウイルス感染症マニュアルを作成し、全職員へ周知した。また、がウン着脱・ゾーニング訓練等を実施し、緊急時の対応に向けて取り組んだ。

イ 夜間の勤務状況のチェック

園長、副園長などの管理職及び夜間リーダーが夜間の現場を不定期に巡回し、勤務状況のチェック・指導を実施した。

ウ 問題兆候への「気づき」

部署会議等における情報交換を綿密に行うとともに、ニーズ調査などの機会も利用し、部署職員全員で問題点やその兆候の把握に努めた。

エ 職員との面談と教育

園長及び副園長が契約職員を含む全職員との個別面談を実施したほか、虐待防止に関する研修を実施した。

6 職員の育成

(1) 職員の資質向上を図るため、施設内研修（救急法・蘇生法・摂食嚥下・新型コロナウイルス感染症・虐待防止・倫理綱領と行動基準・権利擁護等）を実施するとともに、外部機関主催の研修についてはWEB研修を活用し、支援・業務及び危機管理等に関する幅広い知識を学んだ。

(2) 適切な支援の提供と業務遂行能力を高めるため、個別支援計画の作成時や支援場面において上位・経験職員による個別指導を実施するとともに、必要に応じて助言・指導が行えるよう個別研修体制を整え、正規職員と契約職員相互の資質向上に努めた。また、施設内研修の充実を図るため新採・転入1年目の職員から主任、監督者までを対象に研修体系を整え、階層別研修としてスキルアップ研修を実施した。